

GPC-5501

スーパーインポーズ NTSC 画像入出力インタフェースモジュール用
Windows ドライバ



概要

GPC-5501 は、Windows 上のアプリケーションから、弊社スーパーインポーズ NTSC 画像入出力製品を制御する為のソフトウェアです。
弊社スーパーインポーズ NTSC 画像入出力製品を Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。

特長

- NTSC 規格のコンポジット信号(ビデオ信号)に、任意の画像データを重ねてモニタ出力します。重ね合わせたデータはボードメモリへキャプチャすることも出来ます。
- 画像データのスーパーインポーズは、ビットマップ形式のファイルで使用出来ます。スーパーインポーズ用の画像は最大 8 種類設定することが出来ます。
- ボードメモリへのアクセスはバスマスタ転送を行うことにより、キャプチャデータの読み込み、スーパーインポーズ画像の書き込みを高速に行うことができます。
- デジタル入出力(入出力 8 点共用)を搭載しており、任意の接点数での入出力ができます。また、デジタル入力はトリガ信号として使用できるため、外部トリガによるキャプチャを行うことができます。
- ボードからの割り込み発生時およびインターバルタイマにて、ユーザアプリケーションにイベントを通知できます。
- 取り込んだ画像を表示できるキャプチャユーティリティ、スーパーインポーズ画像を作成するスーパーインポーズ画像作成ユーティリティが付属しています。
- 機能や使い方を説明する Help をサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、参照することができます。

対応 OS

-

対応言語

-

注意事項

—